

省エネ・温暖化講座カリキュラムのご案内

消費者向け	営業、販売向け
<p>①温暖化編 地球温暖化の話、エネルギー起源による二酸化炭素(CO2)などの温暖化ガスによる影響などを要約してお話します。 今、起きている温暖化の現象や原因、温暖化ガスの今後の影響や今後のエネルギー使用の関係など、要約してお話します。</p>	<p>①温暖化編 基本的に消費者編と同じです。 熱源別のCO2排出と温暖化ガスに関しては、少し詳しくお話します。</p>
<p>②家電製品の省エネ編 家庭内のエネルギー使用比率が一番高い電気製品の省エネに 関しての話です。特に比重の大きいエアコンと冷蔵庫を中心に お話します。買い替え時のポイントやメンテナンスの話を入れて。 家庭のエネルギー使用で多いのは給湯と暖房ですが 節約の省エネと効果的な省エネなど、特に化石燃料とヒートポン プの効果の話。 待機電力とその節約方法、家庭内の使用電力の見直しなど</p>	<p>②家電製品の省エネ編 基本部分は消費者編と同じですが、追加の要素は 温暖化とその原因の化石エネルギーやエネルギーの中で中心とな る電気エネルギーに 関しての状況や動向 知っておきたい電力のCO2排出値は、各電力会社で差がありますが。 少し大きめの冷蔵庫を販売する理由は、省エネとの関係は…意外な死因 冷暖房の省エネは…エアコンの特性やインバーターの特徴を含んで説明 します。</p>
<p>③家庭の冷暖房の省エネ編 熱源別の特徴(ガス・石油・電気) 局部暖房と全体暖房 全体暖房の種類と比較(石油・ガス・電気) 冷暖房機器としてのエアコンの省エネ性、特徴は 日本の気候に合ったエアコンの進化、性能や機能 エアコンの省エネ性を生かした使い方 カタログからみるエアコンの省エネ性の比較 住宅環境や住宅性能と冷暖房のエネルギー消費の関係 灯油やガスからのエアコン暖房へ転換した場合の効果 (CO2削減と燃料費の比較) 住環境と冷暖房器具に関して(冷暖房のエネルギー節約は)</p>	<p>③冷暖房の省エネ編 熱源別の特徴(ガス・石油・電気) 地区別で見るエネルギー消費の違い 全体暖房の種類と比較(石油・ガス・電気) 消費者編を要約して、以下のポイントを付け加えます エアコンの進化や性能面の進歩など インバーターエアコンの特性、説明の留意点など 力率の問題、夏のピーク電力の改善 特に暖房機としてのエアコンの特性や低炭素化性能の話 実例で化石燃料からの転換での事例説明 もう一步説明を加える日本の気候を考えたエアコンの機能は…除湿 機能はうまく説明し、上手に使っていただくと…</p>
<p>④給湯の省エネ編 家庭でのエネルギー使用量の一番大きい給湯の省エネの説明です ガス機器・石油機器・エコキュート・深夜電力温水器などを比較して その家庭にあった給湯の省エネの選択や使用機器の特徴を入れて 説明いたします。 ガスエンジン発電を行うエコウィルを入れた給湯の説明もあります。</p>	<p>一般消費者向けのみですが、ご希望がありましたらアレンジいたします</p>
<p>⑤電気エネルギー編 家庭内でのエネルギーウェイトの一番多い電気エネルギーの発電 から使用までの話です。電気エネルギーとしての特徴や発電方法の 多様性など、電気が生まれて届いて使用する迄の話を入れます。 ピーク電力とは…交流電力の仕組みや特徴(直流との違い) 電気エネルギーの特徴や上手な利用の仕方、ヒートポンプの仕組みと 効率の良さは…など家庭における電気の話をしします。 省エネ製品の選び方や性能の比較の仕方などもお話します。</p>	<p>⑤電気エネルギー編 発電から使用までの電力全体の話をしていただきます。 電気エネルギーのチェーンマネジメントの問題は、系統電力の問題と 電力融通の話、電気エネルギーとしての特性や特徴など 一般的な省エネ手法として言われているものは正しいか否か、効果のあ る省エネ手法や電気製品のエネルギー使用と節電方法など プロとして知っておきたい節電手法やノウハウ、消費者に説明できる節電 のイロハなど…あまり知られていない家電品の力率の話も入れます。 ほとんどの省エネの話の中で、電流計測だけで消費電力を推定していま が、これは死角になっています。</p>
<p>⑤節電講座(家庭向け)夏・冬各編 電力不足が続くなか、削減効果が一番見えにくい家庭の電力削減を お話します。節電はただ我慢の節電では長続きしません。 合理的で無理に無い節電の手法や手順をお話します。 電力不足のときの他のエネルギー利用や石油やガスの利用と機器の 選び方やメンテの仕方や使い方なども入れています。 特に、夏と冬のピーク電力時間帯の節電が大事です。 自分の家での省エネを考えると…①電気を使う時間帯は ②大きく電 を使うの物は何が ③節電の手順や優先順位</p>	<p>⑤節電講座(家庭向け)夏・冬編 家庭向けの話を電気のプロ向けにアレンジした内容です。 様々な家電品の電力使用の特徴や、その使用がピーク電力に影響する 度合い、又家電品の電力を調べる時の注意点(特に力率の考慮)など、 又、あまり話題にならない家庭内での配線からの電力ロスなど、電気の プロとしてのアドバイスを入れている内容です。 家庭での電力消費を含めて電力全体の効率を考える講座です。 あまり馴染みのない交流電力の特徴などを入れてお話します。 誤解の無い電力計測のお話も入れます。</p>
<p><b>(各講座の話題)</b> ●家庭で使っている電気って返品があるの?…実は意外な事実が… ●電気って溜められないものなの?蓄電池があるじゃない!!…では家庭の 分を溜めるには…エーそんなにかかるの! ●交流も直流も同じ電気でしょう、大した変わりはないでしょう…実は交流は独特の癖を持った電 …そんな話聞いたことなかったわ! ●電気製品の待機電力のほかに配線器具の待機電力(?)もあるの?…実は配線器具の選び方や使い 電力が無駄になることも… ●10%の節電って難しいの?…誰でも10%は出来ます。但し無理をしない・ムラもない節電の話をししましょう。 ●去年の夏、寝る時にエアコンは使わなかったけど、おかげで睡眠不足とあせもが出来たわ…夜間は電力に余裕があります。上手に使って夏を きってください。 ●電気が不足するとうなるの?…簡単に言えば停電になります。…何故停電になるの?…発電のメカニズムからお話します; ●簡単に出来る効果的な節電は…優先順位と手順の問題です。ただ家庭により電気の使い方が異なりますが… ●電気を上手に使うには…電気に仕事をさせて熱を出すものと、最初から熱を出させる仕事の二種類がありますが… ●電気が足りなくなって言ったら電気は足りてるでしょう!…実は電気の供給側の予備率があります。実はこの冬も大変なことが…</p> <p>※各カリキュラムは、おおよそ60分から120分です。時間調整は可能ですので御相談ください。 ※パワーポイントを使用して説明いたしますが、必要によっては家電品と計測器を使った簡単な実験も入れます。 ※説明内容に御希望等(追加項目)などあれば、事前に御連絡ください。説明資料等を準備いたします。</p>	

●メールでのご連絡はこちらへ dokateki@nctv.co.jp